



ふる郷を拓く!

秋晴のご挨拶

皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

またコロナ感染症への対応にご尽力頂いている、すべての皆様方に心より感謝と敬意を表します。令和4年度、第3回定例会が9月9日から10月5日まで27日間の日程で開催され、今回は県議団を代表して2回目の代表質問に臨みました。

さて去る5月29日の自民党鹿児島県連大会で、森山ひろし県連会長の下、政調会長に就任しました。県連「政策集」を取りまとめると共に、8月下旬から9月中旬の10日間にかけて、自民党友好団体40団体から1時間ずつ意見聴取会を主催しました。今後知事に申し入れをする等、政務調査の責任者として、友好団体の意見や地域課題をしっかりと政策に繋げて参ります。

また6月18日の自民党鹿屋支部総会にて、自民党鹿屋支部長を拝命しました。「政治は国民のもの」という一文から始まる立党宣言を胸に刻みながら、職責を務めさせていただきます。

併せて、議会ではデジタル化・ペーパーレス化の推進が喫緊の課題であり、推進する責任者として、デジタル化推進委員長を拝命し、8月には茨城県など先進地を視察しました。時代の潮流を見据えながら、ペーパーレス化・IT化の波を議会にも導入して参ります。

今後とも、誰もが安心して暮らし活躍できる社会の形成に向けた政策推進に向けて、鹿屋・垂水地域の声を県政に届けるべく邁進して参ります。引き続き倍旧のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



令和4年度 第3回 定例会を終えて

補正予算

令和4年度9月補正予算案

94億6300万円を追加する2022年度一般会計補正予算案(総額8925億3400万円)が示された。原油・物価高騰対策として、5事業に計15億1500万円計上。国が実施する肥料コスト増加分の7割補填策に上乗せし、残り3割の半額助成に4億1500万円、農業用ビニール資材の価格上昇分の半額支援に5億9600万円、またトラック運送事業者の燃料負担軽減策に4億5700万円計上。

コロナ対策は16事業に計64億6200万円。収束後の本格焼酎の需要増に備えた酒造メーカーの経営支援に2億3800万円、医療体制や陽性者のフォローアップ体制確保に向けて26億7300万円。また7月の大雨で被害を受けた県有施設などの災害復旧対策3事業に計1億1000万円。

「ごどもまんなか社会」

新たな児童相談所の開設

令和4年6月15日、「ごども家庭庁」の設置関連法と議員立法の「ごども基本法」が成立。首相直轄組織として来年4月に創設が予定。子ども政策を社会の真ん中に据える「ごどもまんなか社会」の実現に向けた取組が進められている。令和元年度の児童相談所の児童虐待対応件数は193,780件。市町村の児童虐待相談対応件数は148,406件。本県の3児童相談所と市町村が令和3年度に認定した児童虐待件数は、2423件と前年度より68件増え、10年連続で前年度を上回っている。令和3年6月には「一時保護所のあり方等検討委員会」が設置され、令和4年3月には中央児童相談所の管轄区域の一部分と児童相談所の新設の報告書知事へ手渡された。その上で、新たな児童相談所を北薩地域振興局さつま庁舎に令和5年4月に開設したい旨、知事より表明があった。

新鹿児島PR戦略

キャッチコピー策定

令和3年本県の延べ宿泊者数は、前年より3.9%減の492万5,760人で、アフターコロナを見据えた施策に積極的取組が必要。令和4年6月議会で、「新型コロナウイルス感染症の影響によるライフスタイルの変化やデジタル化の進展など社会経済情勢や時代の潮流を踏まえて、年内にPR戦略策定と、年度内のキャッチコピー策定」が県より表明された。観光・流通・デジタルなど各分野の専門家による有識者会議が設置され、本県の多彩な魅力が国内外に効果的にアピールされる事が求められている。

飲食店支援策

ぐりぶクーポンと酒造メーカー支援

県内の飲食サービス、特産品等の購入に利用できるぐりぶクーポン発行事業により、原油価格・物価高騰等によって影響を受けている飲食店等の支援と、県民の消費意欲の喚起や生活者への支援が図られている。配信は令和5年1月29日まで2週間に1回を予定しており、令和4年8月28日時点で登録者数約81万人、登録店舗数は飲食店1690店、特産品店319店であり、使用枚数は約188万枚に上る。また、県内酒造メーカーの経営を改善し新型コロナウイルス収束後の需要対応に繋げる為、さつまいも基腐病の影響による原料用さつまいもの購入価格の上昇等に伴うコスト支援の為、約2,37億円を補正予算で計上。

本県教育の現状

全国学力・学習状況調査と教員免許更新制

平成19年度に始まった全国学力・学習状況調査を本年度は全国の国公私立学校に通う児童生徒が約190、6万人が参加し、本県の約2、6万人の児童生徒が参加。小学6年生は国語と理科が全国平均を上回り、算数は全国平均並み。中学3年生は国語と理科が全国平均並みで、数学が全国平均を4ポイント程下回った。県教委では、平成31年2月に「県教育振興基本計画」を策定しており、全教科で全国平均を上回る事が目指されている。また令和4年7月より、教員免許更新制が廃止され教員が受講した研修の個別記録と、校長の指導助言により、受講すべき研修を奨励する新たな仕組みが始まった。学校教育の課題や課題に的確に対応すると共に、学び続ける教師としての自覚を促す事にもつながるものと期待されている。

県住生活基本計画

全国学力・学習状況調査と教員免許更新制

基本計画では、「良質なストック形成と空き家の適正管理」が位置付けられている。平成30年の本県の空き家戸数は約16、7万戸、空き家率は19%と全国6位で、地域の防災性・防犯性低下や居住環境悪化などが問題視されている。

祝 県政トピックス

うなぎ養殖日本一の本県の快挙!

水産技術開発センターで取り組んでいるニホンウナギ仔魚の飼育実証試験において、都道府県の飼育試験として初めて仔魚から稚魚への変態を確認。国などと連携し、人工種苗の大量生産に向けた研究の更なる促進を進めていく。

Table with 2 columns: Item (目的, 種苗の由来, 開始日, 稚魚尾数) and Value (県レベルでの飼育技術の再現性を検証, 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 志布志市庁舎から仔魚受け入れ (約24,000尾), 令和4年 1月20日(木), 8月22日(月)までに合計666尾)

令和4年6月

～令和4年9月

4カ月の活動報告

県建設業協会役員

県肉用牛改良研究所

自転車インカレ



8日 鹿児島市
今後の国土強靱化の予算確保と共に、設計労務単価向上などについて意見交換。

7日 曽於市
曽於市にある『県肉用牛改良研究所』に伺い、県有種牛の改良状況と畜産の現状等について意見交換。

1～4日 南大隅町
9月1日～4日にかけて、南大隅町にて大学対抗選手権自転車競技大会（インカレ）が開催され、自転車競技連盟会長代行として閉会の挨拶。

ひまわりフェスティバル

花岡地区要望

デジタル化



23日 東原町 鹿屋市
東原町にて毎年恒例のフェスティバルに参加し、来賓挨拶をさせて頂く。

8日 花岡 鹿屋市
花岡地区国道整備について、地元要望を森山代議士に相談し対応等について検討。

22日 鹿児島市
デジタル化検討委員長として、議会ペーパーレス化とデジタル化等について参考人より意見聴取。

鹿児島国体へ向けてカウントダウン

環錦江湾観光連絡会議 in 垂水

【県議会所属委員会】



令和4年度
文教観光委員会 所属
県議会デジタル化検討委員会 委員長

【自民党県議団役職】

- ・自民党県連 政調会長
- ・自民党鹿屋支部 支部長
- ・子供・子育て調査会 会長
- ・畜産振興調査会 事務局長
- ・建設問題調査会 事務局長
- ・西原台小学校 PTA 副会長

【略歴】

西原台小・第一鹿屋中・鹿屋高校卒業
H14 大阪大学経済学部卒業
H14 日本航空（JAL）入社
H21 鹿児島大学院 農学研究課修士取得

10日 高須海岸 鹿屋市
高須海岸にて、昨年撮影した写真を掲示して頂く。令和5年10月開催に向けてカウントダウン。

2日 垂水市
錦江湾を取り囲む市町長を交えた意見交換を開催。錦江湾のブランディングを如何に進めるか等を協議。

垂水市鳥獣害対応

県教育長と農政部長と意見交換



25日 垂水市
イノシシなど鳥獣害の多発の現状と対策について現場視察し、対応等について協議。

14日 鹿児島市
県教育長並びに農政部長に対し、今後の農業教育の在り方について、農業教育新興会役員と共に申し入れ。

鹿児島県旅客船協会

下鶴市長 表敬訪問



6日 鹿児島市
鹿児島県旅客船協会より、燃油高騰対策や港湾整備などについての要望書を県連にて賜る。

3日 鹿児島市
昨年まで同僚県議であった下鶴市長を表敬訪問。鹿児島市政運営の展望等について意見交換。

ごうはら拓男 事務所

〒893-0057
鹿児島県鹿屋市今坂 12403-10
TEL : 0994-45-7801

郷原拓男の活動はココカラチェック



市内各地にて「ミニ集会」を開催します！

県政報告は、いつでもどこへでもお伺いします。地域の課題を教えて頂き、県政に届けて参ります！

